

各 位

会社名ヤマトインターナショナル株式会社代表者名取締役社長盤若智基(コード番号8127東証第一部)問合せ先執行役員IR経営企画室長川島 祐二TEL(03)5493-5629

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年10月11日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたので、 お知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

2020年8月期第2四半期累計期間連結業績予想数値の修正(2019年9月1日~2020年2月29日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 9,000	百万円 400	百万円 430	百万円 270	円 銭 13.14
今 回 修 正 予 想 (B)	8, 700	75	115	65	3. 16
増 減 額 (B-A)	△300	△325	△315	△205	
増 減 率 (%)	△3. 3	△81. 3	△73. 3	△75. 9	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2019 年8月期第2四半期)	8, 956	530	571	362	17. 66

2020年8月期通期連結業績予想数値の修正(2019年9月1日~2020年8月31日)

	3/// ID - 1/2 (-				
	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する当期純利益	1 株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 17, 100	百万円 600	百万円 670	百万円 420	円 銭 20.44
今 回 修 正 予 想 (B)				_	
増 減 額 (B-A)	Ī		_	_	
増 減 率 (%)	Ī		_	_	
(ご参考) 前期実績(2019年8月期)	16, 818	582	669	529	25. 77

2020年8月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(2019年9月1日~2020年2月29日)

	売 上 高	経 常 利 益	四半期純利益	1 株 当 た り 四 半 期 純 利 益
前回発表予想(A)	百万円	百万円	百万円	円 銭
M I 2 2 1 2 (11)	9,000	410	260	12. 65
今 回 修 正 予 想 (B)	8, 700	110	70	3. 41
増 減 額 (B - A)	△300	△300	△190	
増 減 率 (%)	△3.3	△73 . 2	△73. 1	
(ご参考)前期第2四半期実績(2019年8月期第2四半期)	8, 956	575	377	18. 36

2020年8月期通期個別業績予想数値の修正 (2019年9月1日~2020年8月31日)

	売 -	上 高	経 常	利 益	当 期 純	利益	1 株 当 期	当たり純利益
前回発表予想(A)		百万円 17, 100		百万円 620	Ī	百万円 390		円 銭 18.98
今 回 修 正 予 想 (B)		_		_		_		_
増 減 額 (B-A)		_		_		_		
増 減 率 (%)		_		_		_		
(ご参考) 前期実績(2019年8月期)		16, 818		631		246		12. 01

修正の理由

1. 連結業績

当第2四半期累計期間におきましては、消費税増税前の駆け込み需要は想定を下回ったうえに増税後の個人消費不振は想定を上回り、加えて気象災害及び記録的な暖冬の影響等により、秋冬物プロパー販売が苦戦し減収の見込みとなりました。また、上記の理由から過剰になった秋冬物在庫の適正化を図り値引き販売を拡大した結果、想定していた利益を下回る見込みとなりましたので、利益の当初予想を下方修正いたします。

通期の連結業績予想につきましては、上記に加えて第3・4四半期における新型コロナウイルス感染症の見通しが不透明であり、当社の業績に与える影響等の予測が困難であることから、2019年10月11日に公表した業績予想を一旦取り下げ、未定としております。

店舗来客数の動向や中国生産工場の稼働状況等、当社の業績に与える影響等を精査し、適正かつ合理的な算出が可能になり次第、速やかに公表いたします。

2. 個別業績

当第2四半期累計期間の個別業績予想につきましては、連結業績と同様の状況により、利益において 当初の予想を下回る見込みであります。

通期の個別業績予想につきましては、連結業績と同様の状況により、未定としております。 予想数値が確定次第、速やかに公表いたします。

- ※当期の配当金につきましては、通期の連結業績予想が確定後、修正が必要な場合は、「年間配当金 12 円以上を前提に、配当性向 70%以上の安定配当」の基本方針に則り、速やかに公表いたします。
- (注)本資料に記載されている修正予想の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

以上